
BLACK + RABBIT ~ あの日も月が赤かった ~

もにゃこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLACK+RABBIT あの日も月が赤かった

【Nコード】

N7880E

【作者名】

もにゃこ

【あらすじ】

朝起きたら私は人形になっていた！？

序章＊朝起きると

白い星・・・赤い月・・・黒の夜空。

その夜奇妙な音楽と共に現れた少年とウサギ。
そのそばでは小さな女の子が眠っている。

「やれやれ・・・やっかいな仕事だ・・・。」

「おめざめですか？」

朝起きてみるとウサギのぬいぐるみが話していた。

「朝ご飯が出来ていますよ。」

猫のぬいぐるみも話すようだ。

「とりあえず服を着替えましょう、離羽様。」

離羽・・・そうだ。ゆいがさきじは結ヶ崎離羽それが私の名前だ。

でもここはどこなのだろう。

「あの・・・あなた・・・ここはどこですか？」

「ああ、私のことはマツクロとお呼び下さい。それで・・・ここは
ですね・・・ドールキングダムと言いまして、人形だけが生活でき
る場所です。」

「人形だけ・・・？」

つまり・・・だ、私は人形なのだ。
人間ではなくて・・・。

「とりあえずお洋服にお着替え下さい。」

お洋服といって出てきたのはまさにお嬢様って感じの服だ。
いつもＴシャツジーンズの自分には微妙だろ。

と鏡を見ると・・・。

「かわいい・・・。」

ドレスのような服を着た私は人間のときの私とは違ってかわいかった。

黒髪のロングヘア、真っ白な肌、赤い瞳。

本当に自分なのだろうか。

「さあ、朝食ですよ。」

猫が言う。

目玉焼きかなー？とか思ってたら・・・

「まぶしい。」

朝食にこれはないだろと言う高級品が並んでいた。

「おいしい・・・。」

すぐに食べ終わってしまった。

第一章＊友達

「ごきげんよう」

学校に行きましようとか言われて外に出てみた私。
扉の外には可愛らしい少女が（人形なのでしょうが・・・。）！

「ごきげんよう。」

柄に合わない言葉を喋る私。

「この方は唄乃姫紫うたのひめしさまです。」

誰かと思っていた私の心を読むかのようにマックロが答えた。
いや、実際に心を読んでいるのでは？

と言うか姫紫ってどんな名前ですか・・・。

「りい様、邪魔者が来ないうちに学校へ・・・。」

りい様って呼ばれてるんだ・・・。

「まてーいメシっ！抜け駆けはゆるさんぞ！」

男の子が走ってきたかと思えば姫紫さんにキック・・・。

メシって・・・メシ自重・・・。

そのへんにつっこむ私。

「男って野蛮ね！」

キレル姫紫さん。

「この方は陽園院樹幽様ひそのいんきゆうです。」

マツクロがまた説明。

「ヒメシにキューか……………」

私が無気なく呟く。

そのとたん姫紫さんが勝ち誇ったような笑みを浮かべ、
樹幽さんがため息をついた。

「今日は姫紫の方が先に名前を呼んで下さいましたわ！」
「くう……………今日は負けか……………」

なんだこの人達。

「二人は離羽様と恋仲になることを願う人達で毎日勝負しているのです。」

一人女ですが？

「朝はどちらが先に名前を呼んでもらえるか勝負をしているのです。」

「うふふっじゃあ今日は一緒に登校しましょう」

「勝ったら離羽様と登校できるのです」

なんだよそれっ！

「あ、そうそう！」

マツクロが思い出したように言った。

「姫紫さまのことはヒメと呼んで上げてくださいね！」

「ヒメ？」

「どうかなさいましたか？離羽様……。」

あ、姫紫さん……いやヒメがいたんだっけ！

「なんでもないわ……。」

「本当ですか？」

「ええ。」

自分もあまり使わない口調。
けどすぐに出る。

なんだろう……。

懐かしい気がする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7880e/>

BLACK + RABBIT ~ あの日も月が赤かった ~

2010年10月21日21時31分発行